

Y05a **天文学・宇宙物理学に関するリベラルアーツにおける科学リテラシー知見獲得効果と授業・教材作成指針**

山崎大 (茨城大学)

科学的概念と手法に対する理解や知識は、科学リテラシー (scientific literacy) と呼ばれている。科学的に正しい情報の活用は、基礎科学の発展のみならず、社会全体の利益も同時に生み出してきた。そのような情報を正しく理解し、適切に運用するためには、科学的な検証過程を経ることが必要であるが、科学的な検証過程を経ない、「疑似科学」とよばれる科学的を装う情報も、残念ながら日々生み出されている。疑似科学の中には、心身や経済の損害につながるものもあり、だれでも自由意志に従って制限なく情報を拡散できる昨今の情報社会において、科学的に正しい情報を見分け、安全に活用するために、科学リテラシーに関する知見が必要不可欠になっている。本発表では、茨城大学で実施した天文学・宇宙物理学に関するリベラルアーツ科目における科学リテラシーに関わるアンケート結果と、その授業の出席率と成績、学生の属性 (理系科目に対する得意・苦手意識など) との関連を調査し、その解析から、科学リテラシーに関する知見獲得を目的とする科目の授業・教材作成指針について議論・考察した結果を発表し、それらに基づいた授業教材を例示する。